

# 海東小学校だより

第9号  
令和5年月10月17日  
宇城市立海東小学校  
発行 校長 中村

## 後期が始まりました！ 前期終業式～後期始業式(人の力について考えました)

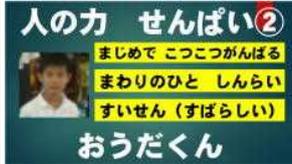
10月6日に前期(1年生～4年生 96日間、5年生～6年生、97日間)が終了し、秋休みを終え、10月12日に後期(1年生～3年生・6年生 101日間、4年生～5年生、102日間)がスタートしました。夏休み前後の全校集会で前期の子供たちの頑張りについて話をしましたので、人の秘めた力(可能性)の素晴らしさについて、子どもたちと一緒に考えてみました。私が、「人の秘めた力(可能性)の力の素晴らしさ」、特に子ども達の秘めた力のすばらしさを感じるようになったふたつのきっかけがあります。まず一つ目のきっかけは、「生まれ持ったすべての力を100とすると、偉人といわれている人でも40程度の力しか出すことができない。残り60の力は発揮されないままである」という言葉に出会ったことです。まだ教師になりたての頃、本やテレビ等から得た情報だったと思います。その当時は漠然と捉えている程度でした。しかし、その後たくさんの子供たちと出会い、自分の想像をはるかに超える力を発揮する子ども達の姿を見るたびに、「子どもたちの秘めた力の素晴らしさ」に驚かされました。「**本当にどんな力を秘めているか分からない。分からないからおもしろい。この素晴らしい力を発揮できないままにするのはもったいない。子どもたちが力を発揮しやすいよう、自分たちの可能性のすばらしさに気づかせていきたい。**」と思うようになったことが、二つ目のきっかけです。私が30代後半の頃から、新しく担任したクラスの第1回目の授業参加では毎回この「人の力」について考える時間を設定し、子ども達や保護者の方に秘めた力の素晴らしさを投げかけてきました。

### ◇前期 終業式(人の秘めた力の素晴らしさ)◇

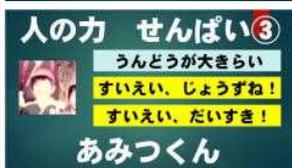
前期の終業式では、まず子ども達に「人の力を100とすると、超すごい人はいくつの力を発揮していると思いますか」と投げかけました。当然100を超える回答がでできます。そこで、「超すごいといわれる人でも40発揮しないそうです。あと60は発揮されないままです。もったいないね。」と投げかけると、驚く子もいますが、信じていない表情の子もいます。



そこで、3人の子ども達の例を紹介しました。まず、緑川小出身の「みどりかわくん」を紹介しました。「この中に、全国でも有名な人がいます。」と投げかけました。緑川君は、サッカー選手で日本代表にも選出され、代表選でも決勝ゴールを決める活躍をしています。左の2年生の頃の写真の中から、そんな選手がでてくることは想像できません。子ども達も、秘めた力の素晴らしさに目を向けることができたようでした。



次に、網田小出身の「おうだくん」です。網田君は、緊張してしまい自分の思いを伝えることが苦手ですが、真面目で何事にもコツコツ頑張るやさしい子どもでした。その人柄からまわりの人からの信頼・推薦され、大学でボランティア活動を頑張っています。二十歳の同窓会の時に、「大学生生活楽しいですよ。九州中を、ボランティアで回っています」と自信に満ちた表情で話してくれました。その時の目の輝きを忘れることができません。



3人目が、網津小出身の「あみつくん」です。1年生の頃の網津君は、運動が大嫌いで、「なんで、運動会があるの?」と泣いている子どもでした。2年生の担任の先生に「水泳上手ね」と言われて、水泳が好きになり体を動かすことが好きになりました。その後、水泳・サッカー・ハンドボール・陸上等の競技で、県や九州の大会で活躍する力を発揮しました。水泳上手ねのきっかけがなかったら、運動が得意な力は眠ったままだったかもしれません。

3人の先輩の話をする、子ども達も人の秘めた力の素晴らしさを感じたようでした。「**小学校のころの姿から、こんな力を発揮してくれると想像することができませんでした。こうした先輩方の姿から人の眠っている力の素晴らしさを学んできました。皆さんも、同じですよ。どんな素晴らしい力が眠っているか分からないよね。だから、楽しみだよ。自分の力を発揮できるよう、後期の目標を秋休みの内に考えてください。**」と投げかけ、終業式の話を終えました。

### ◇後期 始業式(後期の目標)



後期の始業式で、後期の目標の確認をしました。目標発表はできませんでしたが、自分の目標が、3人の先輩の力の発揮の仕方のどのタイプに近い確認しました。

- 緑川君タイプ... **自分の夢に向かって頑張っていく**
- 網田君タイプ... **自分の長所を伸ばして頑張っていく**
- 網津君タイプ... **チャンスを生かしてがんばっていく**

全体的に、3つのタイプそれぞれにまんべんなく分かれていました。子ども達が、自分の眠っている力を発揮するためにしっかり考えてくれたことを感じました。後期は、約100日間あります。子ども達が輝く学期になるよう、全職員で取り組んでまいります。よろしくお祈りいたします。